

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|-------------|------------|--------------------|----|--|
| 1 | 神奈川工業高等学校 | 個人 | たけひさ 竹久 ひかり | 3 | 第58回全国学芸サイエンスコンクールのポスター部門高校生の部において、「守るべきもの」をテーマに、美しい海の中で子どもたちが遊ぶ様子を描いたポスターが高く評価され、最優秀作品に送られる金賞を受賞する等、顕著な実績をあげた。今年度は全国デザイン選手権に応募し、1次審査を通過する等、意欲的にチャレンジしている。また、近隣の商店街の活性化を目的としたプロモーションビデオの作成にも参加する等、地域貢献活動にも積極的に取り組んでおり、他の生徒の模範となっている。 |
| 2 | 横浜平沼高等学校 | 個人 | わだ 和田 まさし 昌士 | 3 | 横浜Fマリノスユースに所属し、日々の練習に熱心に取り組んで技術を研鑽しているのみならず、キャプテンとしてチームの中心となって活躍している。2011年にはU-15日本代表に、2012年から2013年にはU-16日本代表に選出され、2014年度のユース世代プリンスリーグで大いに活躍したほか、同年にはイングランド・プレミアリーグ強豪であるマンチェスター・シティのU-18合宿に参加し、世界の最前線を体験している。今年度は「NEXT GENERATION MATCH」でJリーグ選抜として召集されて活躍し、2016年シーズンからは横浜Fマリノストップチームへの昇格が決まるなど、並々ならぬ努力により数々の実績を残している。一方で学校生活においても、学業や行事に熱心かつ積極的に取り組みクラスの中心となっており、他の生徒の模範になっている。 |
| 3 | 横浜平沼高等学校 | 団体 | ダンス部 | - | 日々の部活動を熱心に行って技術を研鑽し、2年連続で日本高校ダンス部選手権全国大会出場を果たしたほか、東北復興支援イベント「横浜三塔物語」への出場や近隣老人ホーム及び商店街等でダンスを披露する等、「ダンスを通して人を笑顔に」をモットーに、積極的に地域との交流を図り、地域社会の活性化に貢献している。 |
| 4 | 二俣川看護福祉高等学校 | 団体 | 手話部 | - | 日ごろから、地域のイベント等で手話の通訳や手話歌を披露する等、手話の普及及び手話への興味関心を持ってもらうことを目的として活動している。日々の部活動の中で技術を研鑽し、第2回高校生手話パフォーマンス甲子園において関東ブロック1位という好成績を収め、全国大会に進出しており、手話の普及や認知度の向上に大いに貢献している。 |
| 5 | 旭高等学校 | 団体 | サッカー部 | - | 平成23年度より毎年度、震災被害を受けた気仙沼に赴き、地元サッカークラブ鹿折FCの小学生との技術アドバイスやミニゲームを通じたサッカー交流や、復興活動ボランティアを継続的に実施し、「震災直後は声が出なかった子どもたちに笑顔が戻った」と感謝されるなど、被災地の復興支援に大いに貢献している。また、復興支援ボランティアを行う中での活動内容や体験を全校生徒に報告したり、文化祭で発表を行ったりと、被災地の状況やボランティア活動の重要性を多くの人に伝え、復興支援の輪の拡大に貢献している。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|---------|------------|----------------|----|---|
| 6 | 旭高等学校 | 団体 | 交流活動「ピ リープ」 | - | 旭高等学校の部活動と三ツ境養護学校の生徒との間で平成22年度より実施されている交流企画「ピリープ」について、旭高等学校側は、バレーボール球を風船に変えて行うバレーボール大会やバトミントンシャトルをラケットに乗せて運ぶシャトルリレー等、養護学校の生徒も無理なく参加できる競技方法を考案し、三ツ境養護学校側は参加生徒を募集して調整を行う等、双方が協力して企画の運営にあたり、大きな学びの場を作り出している。また、各競技後には交流会を積極的に行う等、インクルーシブ教育の推進に大きく貢献している。 |
| 7 | 三ツ境養護学校 | 団体 | | | |
| 8 | 白山高等学校 | 団体 | 吹奏楽部 | - | 長年の間、近隣の施設「リハセンターさわやか」において、毎年12月に訪問してクリスマスコンサートを実施し、「銭形平次」「水戸黄門」等時代劇のテーマ曲等を演奏したり、お年寄りの方々に親しみのある唱歌を歌っていただくなど、工夫を凝らして毎年好評をいただいているほか、地域のコンサートや吹奏楽祭、日本丸演奏会等、数多くの演奏会に積極的に参加し、地域に大いに貢献している。 |
| 9 | 新栄高等学校 | 団体 | 美術部 イラスト部 | - | 横浜市都筑区荏田東の自転車歩行者専用道路「中の瀬地下道」は、過去数年にわたり落書き等が絶えず、環境の改善が課題であったところ、つづきの丘小学校スクールゾーン・防犯対策協議会からの依頼により、同地下道に明るい色調の壁画を制作し、地域防犯に大きく貢献した。 |
| 10 | 新栄高等学校 | 団体 | ダンス部 | - | 地域からの依頼に応じて都筑区民まつりや学生秋まつり、つづきウォーク&フェスタ等、地域の祭でダンスを披露し、また、毎年実施している近隣の中学校とのジョイントコンサート等、地域の中学校との交流を積極的に行うなど、地域の活性化に大きく貢献している。 |
| 11 | 舞岡高等学校 | 団体 | 硬式野球部 | - | 毎週月曜日の朝に学校内外の清掃活動を行い、また、地域の小学校で行われた防災活動に参加する等、防災運動にも積極的に取り組み、地域に大いに貢献している。 |

平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|---------|------------|------------------|----|---|
| 12 | 柏陽高等学校 | 個人 | あんざい とおる 安西 徹 | 3 | NPOが主催する被災者支援プログラムやボランティアバスに複数回参加し、現地での側溝の清掃や遺品・遺骨の搜索、菊やワカメの収穫等農漁業の手伝い等、東日本大震災の被災地の復興支援を継続的に行っているほか、校外外で積極的かつ継続的なボランティア活動を展開し、他の生徒の模範となっている。 |
| 13 | 金井高等学校 | 団体 | 食育推進係 | - | 食育の推進活動として、近隣小学校の児童と保護者を招き、ピザやフルーツポンチ等を自分の手で手作りして食事に興味を持ってもらう機会とする「夢かないエコクッキング」の実施や、生徒考案の「夢かないパン」の販売、鎌倉養護学校の生徒達と合同での味噌作り教室の開催、食育研究発表会での研究成果の発表等、学校内外で様々な活動を主体的に行っており、地域との連携やインクルーシブ教育、食に対する意識啓発に貢献している。 |
| 14 | 瀬谷西高等学校 | 団体 | 漫画研究部 | - | 三ツ境養護学校の生徒と合同で部活動を行ったり、三ツ境養護学校PTAが主催する「三ツ境ふれ愛フェスティバル」において漫画・イラスト制作やラミネートカード配付を実施して交流を深める等、インクルーシブな部活動を展開しているほか、近隣の特別養護老人ホームにて、塗り絵やパフォーマンスの活動を実施する等、積極的に地域に貢献している。 |
| 15 | 川崎高等学校 | 団体 | クッキング部 | - | 「高校生らしい雰囲気づくり、高校生らしくない料理を全力で」をコンセプトに、年2回「県川レストラン」として保護者や教職員等を招いてレストランを開き、様々な料理の製作にチャレンジしているほか、日々の活動の中で技術を研鑽し、個人では全国高校生パンコンテスト全国大会や世田谷スイーツ&ブレッドコンテストへの出場、団体では「ベトナム人との料理交流会(ベトアジ)」の共催、「つなぎつむぐかわさきの平和資料展」でのすいとん試食体験ブース担当、川崎市国際交流センターでの「異文化料理交流会」での手伝い等、地域イベントにも積極的に参加している。 |
| 16 | 川崎高等学校 | 団体 | ボランティア部 | - | フレキシブルスクールの特色を生かして、全日制・定時制の生徒が協力し、障がい者と小学生が英会話や理科実験と一緒に学ぶカルチャースクール、地域の小学生への非行防止活動、文化祭での募金や展示のほか、川崎警察署の委嘱を受け、小学生を対象とした非行防止の紙芝居教室を行う等、地域と連携した様々な活動を行っており、地域社会に大いに貢献している。 |

平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|------------------|------------|---------------------|----|---|
| 17 | 川崎高等学校 | 個人 | もちだ りかこ 持田 梨夏子 | 3 | 手芸部に所属する中で二人で協力して熱心に手芸作品を作成し、平成26年度川崎市内高等学校定時制作品展手芸部門 金賞、県定時制通信制生徒作品展手芸部門 神奈川新聞社賞を受賞する等、高い評価を受けている。また、研修旅行の一環として行われた宮城県立気仙沼高校定時制との交流会で、自主的に川崎高校のマスコット人形を50個作成してプレゼントし、相手校から好評を受けたほか、校内では率先して委員や係を引き受け、平成27年度の川崎市定時制生徒弁論大会では司会を務める等、積極的な活動で他の生徒の模範となっている。 |
| 18 | | 個人 | おおたけ ななこ 大竹 菜々子 | | |
| 19 | 川崎工科高等学校 | 個人 | わたべ だいち 渡部 大地 | 3 | 1年次より陸上競技部に所属し、砲丸投げの選手として朝・夕の練習に熱心に取り組み、1年次秋の新人戦では県大会出場、2年次秋の新人戦で県大会7位入賞、3年次春の神奈川県高等学校総合体育大会では5位に入賞して、かねてからの目標であった関東高等学校陸上競技大会への出場を実現させる等、ひたむきかつ真摯な練習により技術を研鑽するとともに、3年次には部長として陸上競技部全体を牽引している。また、地域貢献の意識も高く、課題研究の授業においては、地域の商店街と連携し、廃材を利用した水車による発電プロジェクトのリーダーとして積極的に取り組む等、学校生活においても他の生徒の模範となっている。 |
| 20 | 多摩高等学校 | 団体 | 吹奏楽部 | - | 20年以上にわたり、県立高津養護学校での吹奏楽演奏会を継続的に実施し、生徒からのリクエスト曲を演奏したり、各楽器の特徴を演奏とわかりやすい説明で伝え音楽の楽しさを伝える等、生徒と交流を行い毎年好評を得ているほか、3年前からは市民区役所や大学でのイベントで演奏する等、積極的な地域活動を展開している。また、平成26年度には、第15回東関東選抜吹奏楽大会及び県吹奏楽コンクールにて銅賞を受賞するなど、日々の練習により技術を研鑽している。 |
| 21 | 向の岡工業高等学校 全日制 | 団体 | 建設科課題研究キューブパズル班・測量班 | 3 | 平成24年度より、近接する久地小学校で小学生を対象として、木製キューブパズルの製作や測量器械を使用した歩幅の測定といった工業高校としての技術を活用した出前授業を展開し、木材加工の楽しさや測量技術の魅力を伝え、地域に根差した活動として毎年好評をいただくなど、地域に大きく貢献している。 |
| 22 | 向の岡工業高等学校 定時制 | 個人 | くらもち すいみ 倉持 翠美 | 3 | 昨年度は生徒会書記、今年度は生徒会長を務めている。生徒会本部では、昨年度より「生徒からの学校革命 一人ひとりが誇れる学校づくり」を掲げ、生徒会アンケートの実施と結果の反映、生徒会新聞の発行、委員会の活性化、全日制生徒会本部との連携による高校全体の活性化等、積極的に生徒会活動を展開し、大いに成果を上げている。その姿勢や成果から、横浜市立大学の教職課程の授業でゲスト講師として招かれる等、外部からも評価されている。 昨年度から今年度の生徒会本部でのメンバーの入れ替えが多い中、生徒会本部が築いたことを大切にしながら、リーダーシップを発揮し、学校生活向上のために尽くしている。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|----------|------------|-----------------|----|---|
| 23 | 津久井浜高等学校 | 団体 | 図書委員会 | - | 横須賀市立津久井保育園において、保育園児向けに作成した紙芝居を使用した実演や絵本の読み聞かせ等の活動を積極的に行い、園児たちの精神的発達への支援及び読書への興味や関心の推進を行う等、地域社会に大きく貢献している。 |
| 24 | 津久井浜高等学校 | 団体 | 野球部 | - | 平成20年度より、毎週月曜日の朝7時30分から8時30分の間、校舎周辺の清掃活動を継続的に実施し、地域の方から感謝の言葉をいただいたほか、また、平成24年度からは地域の防災訓練にも参加し、消火活動や避難所の炊き出しの手伝い等を積極的に行う等、地域社会に大きく貢献している。 |
| 25 | 平塚工科高等学校 | 団体 | 化学部 | - | 地域施設や近隣の小学校、県の主催イベント等、校外において主に子どもを対象とした化学体験教室や化学マジックショー等を実施し、また、文化祭での化学マジックショーの実施や、小中学生を対象とした親子ものづくり体験教室での七宝焼き体験等、積極的な活動を通して化学の面白さを子どもたちに伝えるとともに、地域の活性化に大いに貢献している。 |
| 26 | 高浜高等学校 | 団体 | 手話コミュニケーション部 | - | 校内での手話講座や発表をはじめ、障がい者との交流イベント「Yes・愛・Do音楽祭」の運営、地域イベントや式典での手話通訳や祭等での手話コーラスの発表等、長年にわたって継続的なボランティア活動を積極的に実施し、手話を通して他の生徒の模範となり、又地域の福祉行事の活性化に大いに貢献している。 |
| 27 | 平塚商業高等学校 | 団体 | 地域企業応援プロジェクトチーム | - | 総合ビジネス科経営コースで学ぶ生徒達による「地域の学校」の取組みのひとつとして、地産地消商品の開発を地域団体や企業と共同で行うという目的のもと、生徒の自主的・主体的な働きかけにより企業8社と商品開発、イベント開発、番組開発を行っており、平塚市の環境分析やイベント開発のための調査活動等を経て、株式会社しまむら・マルイファミリー海老名・FM横浜ナバサ等の企業と様々な企画を進めている。こうした取組みにより、生徒が地域協働を直接学ぶ貴重な場となっていると同時に、地域社会の活性化に大きく貢献しており、校内外から注目されている。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|----------|------------|---------------|----|--|
| 28 | 鎌倉高等学校 | 団体 | 科学研究会 | - | <p>校舎近郊にある稲村ヶ崎海岸は砂鉄の産地として知られ、古くから日本古来の製鉄法であるたたら製鉄が行われていたが、室町時代以降は衰退し、江戸時代中期以降は操業の記録は残っていない。この衰退の原因について、鎌倉の砂鉄の性質に要因があるという仮説を立て、元素分析等科学的な手法を駆使して調査・検証を行い、鎌倉砂鉄はたたら炉内の構造・炉内温度管理が不十分だと鉤を得られず、安定した生産を確立できなかったことが衰退の原因であると結論付けた。2011年からは鎌倉砂鉄によるたたら製鉄を実施し、2014年に純度99%以上の鉤を数kg得たことをきっかけに、2015年には鉤全体の純度を99.9%以上にまで高めることで古代製鉄技術の再現に成功した。また、小中学生を対象とする科学実験教室及び一般向けの地域講座を実施する等、科学的な視点から鎌倉郷土史を検証し、その成果を積極的に提供する等、地域に大きく貢献した。</p> |
| 29 | 七里ガ浜高等学校 | 個人 | あおやま 青山 ゆか | 2 | <p>身体的なハンディキャップがあり両手を使う作業が難しい中で、吹奏楽部に一年次より在籍し、トランペット奏者として熱心に活動している。二年次からはトランペットパートリーダー及び副部長として、部の練習計画や活動内容を立てるなど、部の中心的な存在として活躍している。</p> |
| 30 | 湘南台高等学校 | 団体 | 美化委員会 | - | <p>節電やごみの分別といった校内美化活動や、机・椅子やカーテンの状況チェック等の教室内環境整備、エコキャップ運動への積極的な取組等、日常的な活動を熱心に行い、学校行事の際は全校生徒の中心となって清掃や片づけに取り組む等、校内の美化・良好な学習環境の維持に大きく貢献している。</p> <p>また、地域貢献デーにおいては、近隣公園や周辺道路の清掃活動を中心になって実施し、好評をいただくなど、地域にも貢献している。</p> |
| 31 | 湘南台高等学校 | 団体 | 生徒会 | - | <p>体育祭や文化祭等、各種学校行事の企画・運営や、目安箱の設置と寄せられた意見への対応、生徒総会の運営といった学校生活での活動から、30周年記念式典の企画・運営等の周年行事の運営への協力、さらにながわハイスクール議会や17歳ミーティング、交通安全大会への参加や、東北物産市でのボランティア団体との連携等の校外活動等、学校外の行事に積極的に参加し、学校生活を盛り立てると共に、全校生徒の代表として意欲的に活動し、他生徒の模範となっている。</p> |
| 32 | 逗子高等学校 | 団体 | 校規委員会 | - | <p>逗子警察署が実施する、近隣の小学校1年生等を対象とする交通安全教室において、紙芝居等を駆使して子どもにもわかりやすい交通安全実習を継続的に行い、地域に貢献している。</p> |

平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の 別 | 氏名又は団体名 | 学 年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|-----------------|----------------|------------------------|--------|--|
| 33 | 逗子高等学校 | 団体 | 演劇部 | - | 逗子市の体験学習施設「スマイル」で行われる子ども向けイベントでの紙芝居上演及び模擬店の手伝いや、逗子市の「春休み子供フェスティバル」での企画イベント「ゆめわくっ！」で司会及び運営、逗子市警察署が実施した子ども向け防犯・非行防止活動の手伝いを行う等、主に地元の子どもたちを対象に、地域の活動に積極的に参加し、大いに貢献している。 |
| 34 | 神奈川総合産業 高等学校 | 個人 | はら ひろき 原 寛己 | 2 | 生徒会本部の役員として会長・副会長をよく補佐し、近隣の学校と協力しての地域清掃活動や文化祭交流の企画・運営等、積極的に取り組み生徒会活動を活性化させている。また、大道芸部の一員として地域のイベントや福祉施設訪問等を実施し、地域に貢献しているほか、かながわハイスクール議会に2年連続で参加し、委員長として発表や知事への政策提言を行う等、積極的な活動と真面目な人柄で、他の生徒の模範となっている。 |
| 35 | 相模原総合高等 学校 | 団体 | 演劇部 | - | 平成23年度より年に2回、近接する相模原市立大島小学校において、相模原北警察署が実施している児童を対象とした非行防止教室において、「万引き防止」や「いじめ」等のテーマ毎にわかりやすい内容で構成したお芝居を実演し、好評を得ている。 |
| 36 | 相模原総合高等 学校 | 団体 | 部活動生徒に よるあいさつ 運動 | - | 近接する相模原市立大島小学校からの依頼により、「あいさつができる子ども」の育成を目的とする「あいさつ運動」として、毎月2回、各部活動生徒がローテーションで道に立ち、登校してくる小学生にあいさつ活動を実施している。これにより、子どもたちとの交流が生まれ、地域の安全に貢献したのみならず、高校生自身がモラル・マナーを見直す機会となっている。 |
| 37 | 秦野曾屋高等学 校 | 団体 | 夏季福祉体験 学習参加生徒 | - | 平成3年にはじまった「夏季福祉体験学習」において、福祉講座やガイダンスを経て、夏季休業中の数日間にわたり病院や高齢者施設、障害者施設、保育園、学童児童ホーム等、地域の様々な施設で体験学習を行い、地域と連携・協働した福祉活動の実施により、地域福祉に貢献した。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|----------|------------|-----------------|----|---|
| 38 | 厚木商業高等学校 | 個人 | むらた もと 村田 元輝 | 3 | パワーリフティング部の部長として、日々の練習に真面目に取り組み、自身の目標を掲げ着実に達成し、また、後輩をよく指導し、部活の中心となって活動を引っ張っている。学校生活においても熱心に学習し、各種検定試験を取得する等、真面目に取り組んでいるほか、地域の清掃活動やボランティア活動にも積極的に参加するなど、何事にも熱意をもって取り組んでおり、他の生徒の模範となっている。 |
| 39 | 厚木西高等学校 | 個人 | ごとう 後藤 ゆずか | 3 | 「かながわハイスクール議会2015」において、高校生議員全員による投票選挙により議長として選出され、歯切れの良い口調と適切な采配で議事を滞りなく進行し、議会を成功に導いた。学校生活においても、授業に真面目に取り組み、放送委員会では委員長として委員会全体を牽引しているほか、演劇部員として日々の練習に熱心に取り組んでおり、何事にも誠実に取り組む姿勢から、他の生徒の模範となっている。 |
| 40 | 大和高等学校 | 団体 | 物理部 | - | 大和市生涯学習センターにて毎年度開催されている子ども向けイベント「やまとおもしろ科学館」において、昨年度はプラネタリウムの設営、今年度は「不思議なおもちゃ」と題した物理実験演示の実施により参加し、参加した子どもたちから多数の好評をいただいたほか、県立青少年センター主催「高校生科学ボランティア」や、座間市立青少年センター主催「夏祭りひまわりらんど」等、地域のイベントに積極的に参加し、地域に貢献している。また、第57回ALL JAアマチュア無線コンテストに参加し、電話部門マルチオペオールバンド部門で全国三位となるなど、日ごろから技術を研鑽している。 |
| 41 | 大和西高等学校 | 団体 | ESS部 | - | 姉妹校である座間アメリカンハイスクール、フレデリックダグラス高校(米)、マクシミリアンギムナジウム(独)、ローズヒルカレッジ(NZ)、光文高校(韓)等からの留学生が来校した際はウェルカムパーティ等のイベントを企画・開催しているほか、校内外での学校説明会や全公立展、公私合同説明会・相談会等での英語での学校紹介、英語スピーチコンテストへの参加、地域の小学校での英語教室の開催等、積極的に国際交流や地域への貢献を行っている。 |
| 42 | 中央農業高等学校 | 団体 | 農業総合科有志 | - | 生徒が日々の農業学習を通じて学んだ農業の素晴らしさを伝えるため、「命を育て、命をいただく」をテーマとして、田植えや野菜の収穫、団子やパン等の手作り体験等、生徒が講師となって様々な実験や実習を行う県民向けのイベントを発案・企画、2年間の間に5回のイベント開催を実現し、参加した県民から高い評価を受ける等、農業の魅力や大切さのアピールに成功した。その際、最小限の調整以外は教員の力を借りず、生徒が中心となって意欲的に取り組み、他の生徒の模範となった。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|----------|------------|------------------|----|--|
| 43 | 座間高等学校 | 個人 | なかた ひかり 中田 光理 | 3 | 東日本大震災で多大な被害を受けた宮城県女川町において、仮設住宅で生活を余儀なくされている人々の生きがいを作ろうと古くなったTシャツで布草履を作る活動を行っている「女川草履組合(ママサポーターズ)」の活動を支援するため、3年間にわたり座間市内でTシャツ収集の呼びかけを行い、集まったTシャツを現地に送るなど、ボランティア活動に尽力している。 |
| 44 | 座間高等学校 | 団体 | 創作舞踊部 | - | 日々の部活動の中で技術の研鑽に努め、創作ダンスの最高峰の大会である「全日本高校・大学ダンスフェスティバル」への14回の参加実績を持ち、神奈川県代表として7回入賞(うち3回は3位入賞)を達成する等、優秀な成績を収めている。また、座間市内で開催される「ひまわりフェスタ」や「スポーツフェスティバル」への参加協力のほか、隣接する県立座間養護学校の文化祭交流や座間市立入谷小学校の「入谷わいわいまつり」への協力等、座間市を中心とした地域の活動に積極的に参加し、地域社会の活性化に貢献している。 |
| 45 | 座間総合高等学校 | 団体 | フラメンコ部 | - | 日々の部活動を通して技術を研鑽し、文化祭や国際フェスタ等で発表を重ねている。また、地域からの依頼を受け、デイサービス「手をつな号」や「栗原ホーム」等の福祉施設の訪問や、座間市社協ボランティア祭等の地域イベントへの参加等、積極的に地域活動に参加している。 |
| 46 | 足柄高等学校 | 団体 | 放送部 | - | 平成27年NHK全国放送コンテスト神奈川県大会において、朗読部門をはじめとする4部門で優秀賞及び奨励賞を受賞するなどの高い放送技術を活かし、校内放送や行事での司会等、様々な場面で活躍している。 また、夏季休暇中に南足柄市内の学童保育所等に赴き非行防止の紙芝居を行っているほか、オレオレ詐欺防止の広報用テープの作成や足柄上地区学警連の総会での紙芝居実演、「かながわサイバーポリスサポーター」としての非行防止教室等、地域の安全な街づくりに大きく貢献している。 |
| 47 | 綾瀬高等学校 | 団体 | ソフトボール部 | - | 市が主催する学童保育ボランティア活動「あやせっ子」に平成25年度より参加し、毎週木曜日の放課後に近隣の小学校に赴き小学生とスポーツ交流を実施しているほか、校外のゴミ拾いやPTA活動の手伝い等、積極的なボランティア活動を行い、他の生徒の模範となっている。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|---------|------------|--------------------|----|--|
| 48 | 綾瀬高等学校 | 団体 | 風紀委員会 | | 大和警察署と提携し、「ふれあい交通安全指導」として、地域の交通安全指導員の指導を受けながら通学路の危険個所に立ち、同校生徒及び近隣の小中学生に安全指導を行う等、学校周辺地域の安全に貢献した。 |
| 49 | 綾瀬西高等学校 | 個人 | さかた まなみ 坂田 愛珠 | 3 | 所属しているボランティア部の中心として、毎週の清掃・ゴミ捨てや学期末毎の地域施設「希望の家」での交流ボランティア活動等、地域でのボランティア活動を積極的に実施し、地域に貢献しているほか、学校に併設されているディサービスセンターとの交流ボランティアに年数回参加し、入学式や学校説明会での福祉教育の説明・誘導等を行う等、ボランティア活動を熱心に行い、他の生徒の模範となっている。 |
| 50 | | 個人 | しょうじ みずき 東海林 瑞樹 | | |
| 51 | | 個人 | たなか なほ 田中 菜穂 | | |
| 52 | 大磯高等学校 | 団体 | 吹奏楽部 | | 近隣の保育園や特別支援学校、老人ホーム等への訪問演奏会の実施や、地域の吹奏楽フェスティバルへの出演等、様々な音楽活動を通じて積極的に地域に貢献している。 |
| 53 | 二宮高等学校 | 団体 | 家庭科部 | | 二宮町の特産品である落花生や蜜柑を使用したマカロン・マフィン等7種の洋菓子や、地元農家の「青摘みかん」のシロップを使用したういろう等、特産の素材を使用したオリジナルスイーツのレシピを地元のパン屋「芦の屋」等と協働して考案し、二宮町のイベントや文化祭等で販売する等、地域の活性化に貢献した。 |
| 54 | 二宮高等学校 | 団体 | 「駅からハイキング」プロジェクト | | JR東日本のウォーキングイベント「学生が考えた駅からハイキング」について、有志生徒・家庭科部・山岳部等がプロジェクトチームを結成し、二宮駅を起点としてかながわ名所100選にも選ばれたせせらぎ公園と吾妻山を結ぶハイキングコースの考案や、コース上の史跡についての解説やイラストマップ、チェックポイントスタンプの作成を行った。実際にハイキングが実施された平成27年5月9日から6月21日の間には、コースの案内や家庭科部製作のクッキーの配布を実施し、イベントを盛り上げた結果、1000人以上のハイカーが参加するなど、イベントの成功に寄与し、地域振興に貢献した。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|---------------|------------|----------------------|----|---|
| 55 | 城山高等学校 | 個人 | やぎ みゆ 八木 美優 | 3 | カヌースラローム及びカヌーワイルドウォーター競技において、限られた練習環境の中で日々努力を重ね、神奈川県代表として国民体育大会に3年連続で出場した。特に3年次においては、ブラジルで開催された「カヌースラロームJr.世界選手権大会」にも出場を果たした他、各大会において優秀な成績を残している。一方で、合宿や遠征等で忙しい中でも学業をおろそかにせず真面目に取り組み、他の生徒の模範となっている。 |
| 56 | 相模原中等教育 学校 | 団体 | サイバー防犯 ボランティア | - | 神奈川県警察本部サイバー犯罪対策課の指導のもと、県内高校生からは初のサイバーポリスサポーターに任命され、慶應大学サイバー防犯ボランティア研究会と協力し、校内で二回のサイバー防犯教室を実施し、その成果を「サイバー犯罪防止シンポジウムinさがみはら」で発表したほか、川崎市や相模原市の中学校での防犯活動の実施、ふれあい警察展でのボランティア活動、文化祭での発表等、積極的にサイバー防犯ボランティア活動を行っている。 |
| 57 | みどり養護学校 | 団体 | 生徒会 | - | ユニクロが実施している難民キャンプ支援活動「服のチカラプロジェクト」に2年連続で参加し、学内だけでなく近隣の保育園・小中学校及び地域の人々に対して子ども服の回収を呼びかけることにより、多くの子ども服を回収し、ユニクロを通じて難民キャンプの子どもたちに送付した。 |
| 58 | 高津養護学校 | 個人 | あさの しゅうと 浅野 修斗 | 3 | 平成26年4月から現在に至るまでの間、毎朝15分間、生徒昇降口前で登校してくる児童・生徒や来校した保護者に「おはようございます」と大きな声で挨拶をする「朝のあいさつ運動」を行い、学校の明るい雰囲気醸成に大きく貢献している。 |
| 59 | | 個人 | あざがみ ゆうや 畔上 優哉 | | |
| 60 | | 個人 | くどう しゅうたろう 工藤 正太郎 | | |
| 61 | 湘南養護学校 | 個人 | いとう あつし 伊藤 敦史 | 3 | 平成26年度「長崎がんばらんば大会」陸上競技において、走り幅跳びで2位(5m45cm)、100m走で4位(12秒56)、4×100mリレーで5位(53秒53)という成績を収めた。また、生徒会長として、生徒会行事の企画運営に積極的に取り組み、毎週の挨拶運動を率先して行っているほか、日ごとの授業態度も真面目で、他の生徒の模範となっている。 |

**平成27年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 受賞者一覧**

(敬称略)

| No | 学校名 | 個人 団体の別 | 氏名又は団体名 | 学年 | 行為・実績等のあらまし |
|----|-------------|------------|-------------------|--------|--|
| 62 | 秦野養護学校 | 団体 | エコ活動推進事務局 生徒会 | - - | 毎年、病弱教育部門の中学部の生徒を中心にエコ活動推進事務局を立ち上げ、同部門の小学部及び知的障害教育部門の高等部生徒会と連携し、ペットボトルのエコキャップ回収運動を実施している。年2回の回収強化週間の設定や、校内放送での呼びかけ、ポスターの掲示等、積極的な活動の展開により、エコ活動に貢献している。 |
| 63 | 岩戸養護学校 | 個人 | いしみつ かずき 石光 一樹 | 3 | 1年次からマラソン部に所属し、3年間のあいだ一日も休まずに参加、今年度は部長として積極的に取り組んでいる。障害に負けずに常に一生懸命走り、他の部員にも明るく接し、下級生には優しく指導を行う等、他の部員や生徒の励みとなり顧問からも頼りにされている。 また、その他の学校生活においても、授業に真面目に取り組んでおり、特に職業(手工芸)の授業では、革工芸品の作製に積極的に参加し、他生徒の範となっている。 |
| 64 | 横浜ひなたやま支援学校 | 団体 | グリーンサー ビスユニット | - | 学校近隣の公園、住宅街、施設等の清掃に継続的に取り組み、地域の美化に貢献してきた。 また、近隣の農家と連携し、農作物の収穫や運搬等の農作業に取組み、収穫した生産物を学校給食に活用するなど、地産地消の推進に貢献している。 |
| 65 | 横浜ひなたやま支援学校 | 団体 | 生徒会本部 | - | 平成25年度の開校以来、アンケートを実施して全生徒の要望をまとめた要望書を作成し、熱心な生徒会活動により校内の自動販売機の設置等を実現させたことで、明るく楽しい学校生活を作っていくために生徒一人ひとりが自発的に考え、行動する意欲の向上につながり、生徒が中心となる学校作りに大きく貢献した。 |